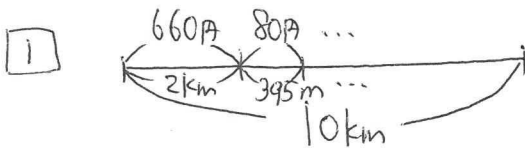


問題 2 1

あるタクシーの料金は初乗りが 2km まで 660 円、それ以降は 395m までごとに 80 円ずつが加算されます。このとき、次の各問いに答えなさい。

1 このタクシーに 10km 乗ると、料金はいくらかかりますか。

2 このタクシーに乗ったところ、4500 円の料金がかかりました。このとき、乗った距離の範囲を求めなさい。



$$10 - 2 = 8 \text{ km} \rightarrow 8000 \text{ m}$$

$$8000 \div 395 = 20 \text{ あり } 100$$

あまりの 100m で、もう 1 回アッとするので

$$20 + 1 = 21 \text{ 回アッ。}$$

$$660 + 80 \times 21 = \boxed{2340} \text{ 円}$$

2  $4500 - 660 = 3840 \text{ 円}$  ... 追加料金

1 回あたり、80 円ずつアッするから、 $3840 \div 80 = 48 \text{ 回アッ。}$

$2 \text{ km} + 395 \text{ m} \times 48 = 20960 \text{ m}$  まで進むことができる。

$20960 - 395 = 20565 \text{ m}$  のときは、金額が 80 円安くなるから、

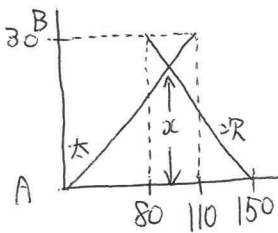
$$\boxed{20565 \text{ m を超えて、} 20960 \text{ m まで}}$$

問題 2 2

1 A, B 両地点は 30km 離れており, 太郎君は A から B に向かって出発し, 110 分かかって B に到着しました。また, 次郎君は太郎君が出発して 80 分後に B から A に向かって出発し, B を出発して 70 分後に A に到着しました。このとき, 太郎君と次郎君がすれ違ったのは, A から何 km のところでしたか。なお, 太郎君も次郎君も途中で休むことはなく, 一定の速さで進み続けたものとします。

2 A 君のお父さんはいつも 22 時に駅に着くので, その 5 分前に家から駅に車が迎えに来ています。ところが, ある日迎えの車が遅れ, 22 時から 5 分待っても来ないので, A 君のお父さんは家に向かって歩き始めました。すると, 途中で遅れていた迎えの車に出会ったので, そこから車に乗って家に向かい, いつもより 12 分遅れて家に着きました。迎えの車はいつもより 25 分家を出るのが遅れたといいます。お父さんの歩く速さ, 車の速さは一定であるとして, お父さんの歩く速さと車の速さの比を求めなさい。

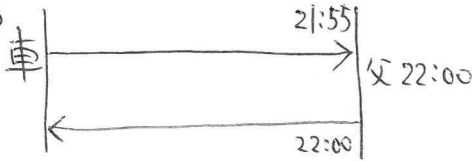
1) グラフが解きやすい。



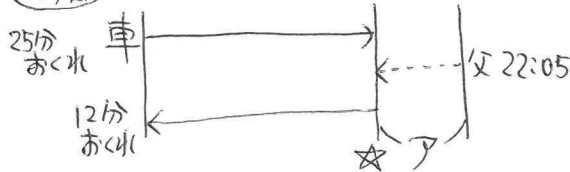
70分歩。(110-80):150 = 1:5 だから

$$30 \div (1+5) \times 5 = \boxed{25} \text{ km}$$

2) (いつも)



(この日)



車にとってみれば, この日は 25 分おくれで出発したはずなのに, 家に到着したときは, たった 12 分おくれにしかならなかった。その理由は 2 つあり,

1. いつもは馬車での待ち時間が 5 分あったが, この日にはそれかなくなった
  2. いつもより車の走ったきりが短かった
- この 2 つの理由で,  $25 - 12 = 13$  分早くなった。よって, いつもより車の走ったきりが短いために  $13 - 5 = 8$  分早くなったのだから, 片道あたり  $8 \div 2 = 4$  分早くなった。

よって, 上の図の A の部分は, 車で 4 分かかるきりである。  
 いつもは馬車を出発するのは 22:00 だから, いつもは ☆ 地点を通過するのは 22:04。  
 この日は 12 分おくれで ☆ 地点を出発したのだから,  $22:04 + 12 \text{分} = 22:16$  に, ☆ 地点を出発した。つまり, お父さんは馬車から ☆ 地点まで,  $22:16 - 22:05 = 11$  分かかった。  
 お父さんが 11 分かかるきりを車は 4 分かかるので, 速さの比は  $\boxed{14:11}$

問題 2 3

1 1, 2, 3, 4 の 4 つの数をすべて使ってできる 4 けたの数 24 個をすべて書きなさい。

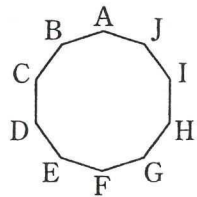
2 0, 1, 2, 3, 4 の書かれた合計 5 枚のカードがあります。これらから 3 枚取り出して並べ、3 けたの整数を作ります。このとき、

- (1) 全部で何個の数を作ることができますか。
- (2) できる数全部を小さい方から並べたとき、40 番目の数は何になりますか。

3 A, B, C, D, E, F の 6 人から (1) 1 人選ぶ方法, (2) 2 人選ぶ方法, (3) 3 人選ぶ方法, (4) 4 人選ぶ方法はそれぞれ何通りありますか。

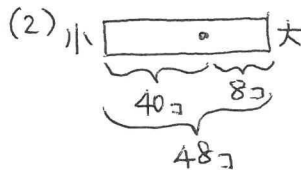
4 図のような、十角形 ABCDEFGHIJ があります。

- (1) 十角形の頂点を結んだ三角形は全部で何個できますか。
- (2) 十角形の頂点を結んだ四角形は全部で何個できますか。
- (3) この十角形の対角線をすべて書いたとき、対角線どうしの交点は全部で何個できますか。ただし、対角線は 3 本以上が 1 点で交わることはないものとします。



1 1234, 1243, 1324, 1342, 1423, 1432, 2134, 2143, 2314, 2341, 2413, 2431, 3124, 3142, 3214, 3241, 3412, 3421, 4123, 4132, 4213, 4231, 4312, 4321

2 (1)  $8 \times 4 \times 3 = 48$  コ



小さい方から 40 番目は、  
大きい方から 9 番目。  
432, 431, 430, 423, 421, 420,  
413, 412, **410**

3 (1) **6** 通り (2)  $\frac{6 \times 5}{2 \times 1} = 15$  通り (3)  $\frac{6 \times 5 \times 4}{3 \times 2 \times 1} = 20$  通り (4) 4人選ぶ = 2人選ぶ = **15** 通り

4 (1) 10コ中 3コ選ぶ。  $\frac{10 \times 9 \times 8}{3 \times 2 \times 1} = 120$  通り

(2) 10コ中 4コ選ぶ。  $\frac{10 \times 9 \times 8 \times 7}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 210$  通り

(3) 対角線を 2本選ぶには、交点は 1コ決まる。  
よって、2本の対角線の選ぶ方が何通りあるかを数えることになる。  
2本の対角線を選ぶためには、4コの点を選ぶのはよい。  
(たとえば A, B, C, D と選んだら、AC と BD の対角線にする。)  
よって (2) と同じく、**210** コ。

問題 2 4

1 ある小学校の6年生は全部で90人います。この90人が全員、立候補者の中から1人の名前を書いて投票で委員を決めるとき、何票取れば当選確実と言えるか、次の各場合について答えなさい。無効票はないものとします。また、立候補者は、選ぶ人数より多くいるものとします。

- (1) 委員を2人選ぶ場合
- (2) 委員を3人選ぶ場合
- (3) 委員を4人選ぶ場合

2 ある小学校の6年生全員が、立候補者の中から1人の名前を書いて投票で委員を3人決めるとき、開票前の段階で確実に当選するのに必要な票数は、15票であるといえます。このとき、この小学校の6年生の人数は何人ですか、その範囲を答えなさい。

3 ある小学校の6年生は全部で154人います。この154人が全員、立候補者A, B, C, D, E, Fの中から1人の名前を書いて投票で委員を3人選びます。その開票作業の途中の状態は以下の表のようになっています。このとき、A, B, C, Dについて、現時点で当選確実かそうではないか、そしてそうではない場合あと何票取れば当選確実かを答えなさい。

名前	A	B	C	D	E	F
票数	36	32	24	18	10	6

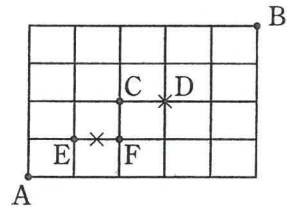
1 (1)  $90 \div (2+1) = 30$      $30+1 = \boxed{31}$   
 (2)  $90 \div (3+1) = 22$  あたり 2     $22+1 = \boxed{23}$   
 (3)  $90 \div (4+1) = 18$      $18+1 = \boxed{19}$

2 当選に必要な票数が15票にたつためには、  
 $\square \div (3+1) = 14$  あたり  $\triangle$  となつて、 $14+1 = 15$  とたつればよい。  
 あたりの部分である $\triangle$ は、最低で0、最高で3。よつて  $\square$  は、  
 最低で  $4 \times 14 = 56$ 、最高で  $4 \times 14 + 3 = 59$ 。よつて、56人以上 59人以下。

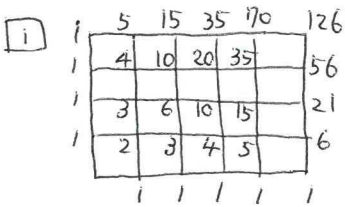
3 あと、 $154 - (36+32+24+18+10+6) = 28$  票残っている。  
 A → Aをふくめて ABCDの4人がみえ、Aと同じく36票にたつたとしたら、  
 $(36-32) + (36-24) + (36-18) = 34$  票必要。しかし残っているのは28票なので、  
 BCDがAに追いつくことはできない。つまり、Aは 当選確実  
 B, C, D → Aはもう当選が決まつているので、残り3人がみえ Bと同じく32票になつたと  
 したら、 $(32-24) + (32-18) = 22$  票必要。あと、 $28-22 = 6$  票のゆえによつて、  
 当落が決まる。  $6 \div 3 = 2$  たつたから、Bは  $2+1 = \boxed{3}$  票。Cは  $(32-24) + 3 = \boxed{11}$  票、Dは  $(32-18) + 3 = \boxed{17}$  票。

問題 25

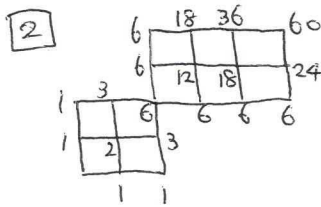
図のような道があり、A 地点から B 地点に遠回りをせずに進むことを考えます。このとき、次の各問いに答えなさい。



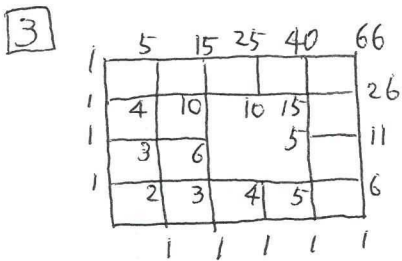
- 1 全部で何通りの進み方がありますか。
- 2 途中で必ず C 地点を通る進み方は全部で何通りありますか。
- 3 交差点 D が通れない場合、進み方は全部で何通りありますか。
- 4 道 EF が通れない場合、進み方は全部で何通りありますか。



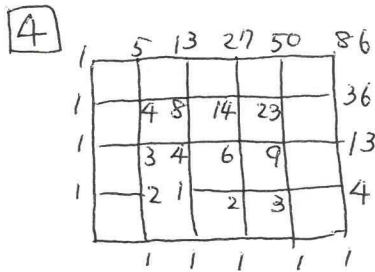
126通り



60通り



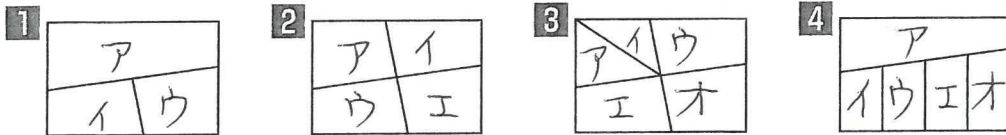
66通り



86通り

問題 2 6

4色の色が使える状態で、以下のような図を塗り分ける方法は何通りありますか。  
ただし、全部の色を使わなくてもよく、塗り分けるとは、線分で接している部分ど  
うしは同じ色を塗らないようにすることを言うものとします。



① 同じ色を使うわけにはいかない。 アイウ  

$$\begin{matrix} \text{ア} & \text{イ} & \text{ウ} \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 4 \times 3 \times 2 = \boxed{24} \text{通り} \end{matrix}$$

② 4色すべてを使う場合は、 アイウエ  

$$4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24 \text{通り。}$$

アとエだけ同じ色を使う場合は、①と同じく 24通り。

イとウだけ同じ色を使う場合も、24通り。

アとエ、イとウも同じ色を使う場合は、 $4 \times 3 = 12$ 通り。

$24 \times 3 + 12 = \boxed{84}$ 通り。

③ 4色を使う場合、どこか2か所を同じ色にしなければならぬ。

その2か所の決め方は、アとウ、アとオ、イとエ、イとオ、ウとエ。

たとえばアとウの場合、 $4 \times 3 \times 2 \times 1 = 24$ 通り。他も同様なので、

$24 \times 5 = 120$ 通り。

3色を使う場合、「アウ・イエ・オ」、「アウ・イオ・エ」、

「アオ・イエ・ウ」、「アオ・ウエ・イ」、

「ア・イオ・ウエ」のぬり方がある。

それぞれ、 $4 \times 3 \times 2 = 24$ 通りずつあるので、 $24 \times 5 = 120$ 通り。

全部で、 $120 + 120 = 240$ 通り。

④ アの決め方は 4通り、

イの決め方は (アをぬった色以外の) 3通り、

ウの決め方は (アとイをぬった色以外の) 2通り、

エの決め方は (アとウをぬった色以外の) 2通り、(イと同じ色でもよいことに注意)

オの決め方は (アとエをぬった色以外の) 2通り。(イウ " )

$4 \times 3 \times 2 \times 2 \times 2 = \boxed{96}$ 通り。

問題 27

15 段の階段があります。次の各場合について、何通りの上がり方があるか答えなさい。

1 1 段ずつ上がるものと 2 段ずつ上がるものだけが許されている場合。

2 1 段ずつ上がるもの、2 段ずつ上がるもの、3 段ずつ上がるものが許されている場合。

① フィボナッチ数列。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮  
1 2 3 5 8 13 21 34 55 89 144 233 377 610 987

② トリボナッチ数列。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮  
1 2 4 7 13 24 44 81 149 274 504 927 1705 3136 5768

問題 28

A, B, C, D, E の 5 人を横に 1 列に並べることを考えます。次の各場合について、何通りの並べ方があるか答えなさい。

① A と B, そして D と E は必ず隣どうしになるように並べる場合。

② A, B, C は必ず隣合うように並べる場合。

① 「AB」, 「C」, 「DE」の 3 人を並べると考え、 $3 \times 2 \times 1 = 6$  通り。

しかし、「AB」と「DE」は、

「AB」と「ED」,

「BA」と「DE」,

「BA」と「ED」という並べ方もあるので、 $6 \times 4 = \boxed{24}$  通り。

② 「ABC」, 「D」, 「E」の 3 人を並べると考え、 $3 \times 2 \times 1 = 6$  通り。

しかし、「ABC」は、

「ACB」

「BAC」

「BCA」

「CAB」

「CBA」という並べ方もあるので、 $6 \times 6 = \boxed{36}$  通り。



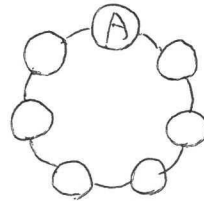
問題 29

同じ大きさの A, B, C, D, E, F, G の 7 種類の玉をひもに通して輪を作ります。7 つの玉の間隔は等しくなるようにします。このとき、次の問いに答えなさい。

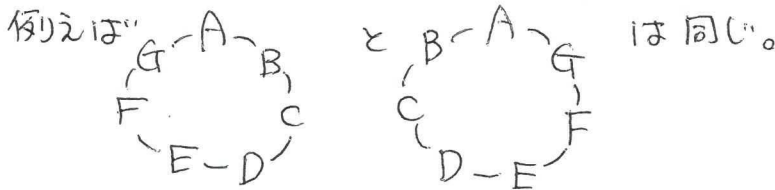
1 机の上に置く場合、何通りの並べ方がありますか。

2 輪の作り方としては何通りありますか。

1 A は 1 番上にある, と決めてよい。  
 (もし 1 番上になかったら, 回して 1 番上にもってきて, 並べ方は変わらない。)  
 のこり 6 つの並べ方を考えればよい。  
 $6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \times 1 = \boxed{720}$  通り。



2 裏返すこともできるので,



$720 \div 2 = \boxed{360}$  通り。

問題 30

0, 1, 2, 3, 4, 5 が書かれた合計 6 枚のカードから 3 枚を取り出し, 3 けたの整数を作ります。このとき, 次の各問いに答えなさい。

- 1 3 の倍数は全部で何個作ることができますか。→ 各位の和
- 2 4 の倍数は全部で何個作ることができますか。→ 下 2 けたが 4 の倍数
- 3 5 の倍数は全部で何個作ることができますか。→ 下 1 けたが 0 か 5
- 4 9 の倍数は全部で何個作ることができますか。→ 各位の和

$$\begin{array}{l}
 \boxed{1} \quad \begin{array}{l} 012 \text{ パターン} \rightarrow 4 \text{ コ} \\ 123 \text{ " } \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 234 \text{ " } \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 345 \text{ " } \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 024 \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \\ 135 \text{ " } \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 015 \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \\ 045 \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} 012 \\ 123 \\ 234 \\ 345 \\ 024 \\ 135 \\ 015 \\ 045 \end{array}} \right\} \boxed{40} \text{ コ}
 \end{array}$$

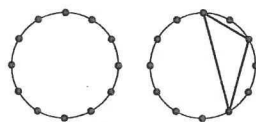
$$\begin{array}{l}
 \boxed{2} \quad \begin{array}{l} \boxed{04} \text{ パターン} \rightarrow 4 \text{ コ} \\ \boxed{12} \text{ " } \rightarrow 3 \text{ コ} \\ \boxed{20} \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \\ \boxed{24} \text{ " } \rightarrow 3 \text{ コ} \\ \boxed{32} \text{ " } \rightarrow 3 \text{ コ} \\ \boxed{40} \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \\ \boxed{52} \text{ " } \rightarrow 3 \text{ コ} \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} 04 \\ 12 \\ 20 \\ 24 \\ 32 \\ 40 \\ 52 \end{array}} \right\} \boxed{24} \text{ コ}
 \end{array}$$

$$\boxed{3} \quad \begin{array}{l} \boxed{\quad} \boxed{0} \text{ パターン} \rightarrow 5 \times 4 = 20 \text{ コ} \\ \boxed{\quad} \boxed{5} \text{ " } \rightarrow \frac{4}{4} \times 4 = 16 \text{ コ} \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} \boxed{\quad} \boxed{0} \\ \boxed{\quad} \boxed{5} \end{array}} \right\} \boxed{36} \text{ コ}$$

$$\boxed{4} \quad \begin{array}{l} 234 \text{ パターン} \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 135 \text{ " } \rightarrow 6 \text{ コ} \\ 045 \text{ " } \rightarrow 4 \text{ コ} \end{array} \left. \vphantom{\begin{array}{l} 234 \\ 135 \\ 045 \end{array}} \right\} \boxed{16} \text{ コ}$$

問題 3 1

図のように、円周を 12 等分した点があります。今、この 12 個の点から 3 個の点を選んで線分で結び、三角形を作ります。このとき、次の各問いに答えなさい。



- 1 全部で何個の三角形を作ることができますか。
- 2 回して重なるものは同じ三角形と考えると、全部で何種類の三角形を作ることができますか。ただし、裏返すことはできないものとします。
- 3 回したり、裏返したりして重なるものは同じ三角形と考えると、全部で何種類の三角形を作ることができますか。

① 12 中 3 点を選ぶ。  $\frac{12 \times 11 \times 10}{3 \times 2 \times 1} = \boxed{220}$  通り

② (1, 1, 10)

☆ (1, 2, 9)

☆ (1, 3, 8)

☆ (1, 4, 7)

☆ (1, 5, 6)

(2, 2, 8)

☆ (2, 3, 7)

☆ (2, 4, 6)

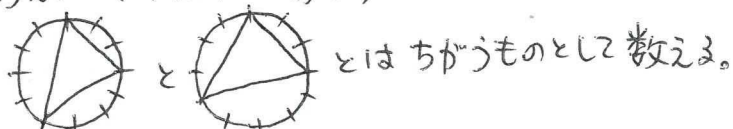
(2, 5, 5)

(3, 3, 6)

☆ (3, 4, 5)

(4, 4, 4)

☆のついた三角形は、  
例えば (3, 4, 5) の場合、



つまり、☆のついた三角形は 2 通り、

それ以外は 1 通りとして考えて、 $\boxed{19}$  通り。

③ ②の☆のついた三角形も 1 通りと考えると、 $\boxed{12}$  通り。

問題 3 2

A, A, A, B, B, C の 6 つの文字からいくつかを取り出して並べ替えるとき、何通りの並べ方がありますか。次の各場合について答えなさい。

- 1 6 つすべてを並べ替えるとき。
- 2 3 つだけ取り出して並べ替えるとき。

1 まず, 6 つのマスを書く。 

6 つのマスのうち 1 つを選んで C を置く。置き方は 6 通りある。  
残り 5 つのマスのうち, 2 つを選んで B を置く。置き方は,  $\frac{5 \times 4}{2 \times 1} = 10$  通りある。  
A は, 残りの 3 つのマスのみに置けばよいので; 置き方は考えなくてよい。  
よって,  $6 \times 10 = \boxed{60}$  通りの並べ方になる。

2 取り出し方によって分ける。

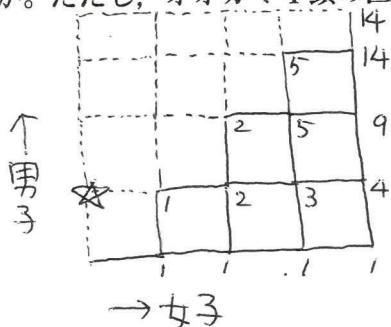
AAA パターン	→ 1 通り	} $\boxed{19}$ 通り
AAB "	→ 3 "	
AAC "	→ 3 "	
ABB "	→ 3 "	
ABC "	→ 6 "	
BBC "	→ 3 "	

問題 3 3

1 男子が4人, 女子が4人いて, 1人ずつ部屋に入っていきます。このとき, 部屋の中の男子の数が女子の数よりも多くなならないように入る方法は何通りありますか。ただし, 男子4人の区別, 女子4人の区別はしないものとします。

2 オオカミが4頭, 羊が4頭います。今, これを小屋に1頭ずつ入れていくのに, 小屋の中のオオカミの数が羊の数よりも多くなると, オオカミが羊を食べてしまいます。オオカミが羊を襲うことがないように入れる方法は何通りありますか。ただし, オオカミ4頭の区別, 羊4頭の区別はしないものとします。

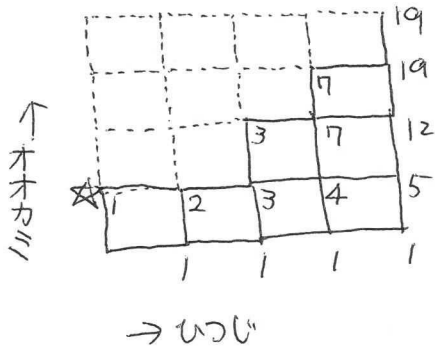
1



14通り

(☆の部分は「男子1, 女子0」なので, 男子が女子よりも多くなってしまうのでダメ。)

2

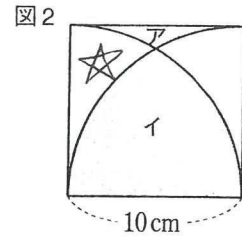
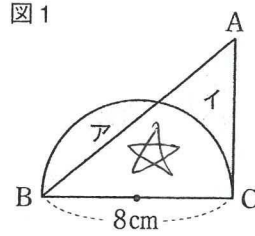


19通り

(☆の部分は「オオカミ1, ひつじ0」なので, オオカミがひつじを襲うわけがないので, OK。)



問題 3 4

1 図1は直径BCが8cmの半円と直角三角形ABCを組み合わせたものです。アの部分の面積よりイの部分の面積が $2\text{cm}^2$ 大きいとき、ACの長さは何cmですか。ただし、円周率は3.14とします。



2 図2は1辺が10cmの正方形に、正方形の頂点を中心とする円の一部をかきこんだものです。図2のアの部分とイの部分の面積の差は何 $\text{cm}^2$ ですか。ただし、円周率は3.14とします。

① イとアの差が $2\text{cm}^2 \Rightarrow$  イ☆とア☆の差も $2\text{cm}^2$   
 ア☆は半円なので、 $4 \times 4 \times 3.14 \div 2 = 25.12\text{cm}^2$ 。  
 よってイ☆は、 $25.12 + 2 = 27.12\text{cm}^2$   
 $8 \times AC \div 2 = 27.12\text{cm}^2$  따라서,  $AC = \boxed{6.78}\text{cm}$

② アとイの差  $\Rightarrow$  ア☆とイ☆の差。  
 イ☆は、 という四分円。  $10 \times 10 \times 3.14 \div 4 = 78.5\text{cm}^2$   
 ア☆は、 という形だから、正方形から四分円を引いたもの。  
 $10 \times 10 - 78.5 = 21.5\text{cm}^2$   
 よって ア☆とイ☆の差は、 $78.5 - 21.5 = \boxed{57}\text{cm}^2$

次の各図形の面積を求めなさい。

- 1 図1の三角形ABCで、 $AB=6\text{cm}$ 、 $BC=8\text{cm}$ 、角B=30度。
- 2 図2の三角形ABCで、 $AB=5\text{cm}$ 、 $BC=10\text{cm}$ 、角B=150度。
- 3 図3の三角形ABCで、 $AC=BC=10\text{cm}$ 、角B=75度。
- 4 図4の三角形ABCで、 $AB=12\text{cm}$ 、角B=15度、角Cは直角。
- 5 図5の台形ABCDで、 $AB=CD=6\text{cm}$ 、角A=105度、ADとBCは平行で長さの比は5:7

図1

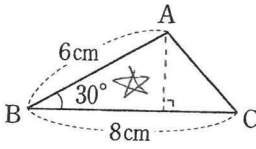


図2

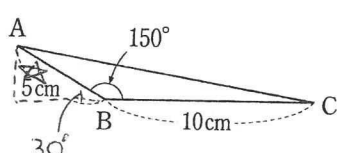


図3

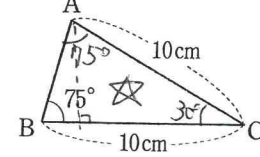


図4

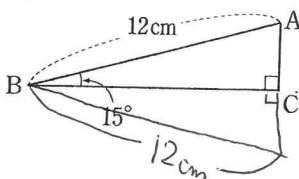
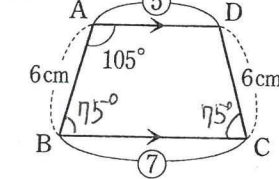


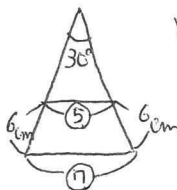
図5



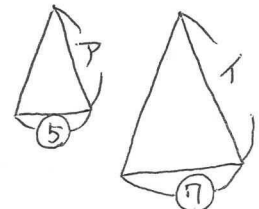
- 1 ☆ は正三角形の半分なので高さは  $6 \div 2 = 3\text{cm}$ 。  $8 \times 3 \div 2 = \boxed{12}\text{cm}^2$   
 2 ☆ " "  $5 \div 2 = 2.5\text{cm}$ 。  $10 \times 2.5 \div 2 = \boxed{12.5}\text{cm}^2$   
 3 ☆ " "  $10 \div 2 = 5\text{cm}$ 。  $10 \times 5 \div 2 = \boxed{25}\text{cm}^2$   
 4 もう1個同じものをくっつけると という、いつもの形。

☆ は正三角形の半分なので高さは  $12 \div 2 = 6\text{cm}$ 。  $12 \times 6 \div 2 = 36\text{cm}^2$   
 この半分をたかす、 $36 \div 2 = \boxed{18}\text{cm}^2$

5 のはして



とすると、ヒラミッド形。ぬき出して、



ア:イも 5:7 になるので、6cm は  $7-5=2$  にあたり、  
 1あたり  $6 \div 2 = 3\text{cm}$ 。 5あたり、 $3 \times 5 = 15\text{cm}$ 、 7あたり、 $3 \times 7 = 21\text{cm}$ 。

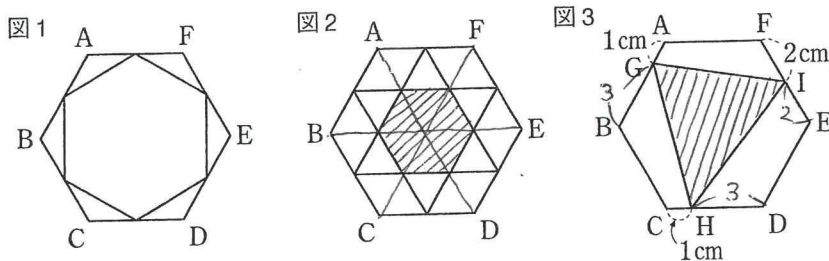


☆ は  $15 \times (15 \div 2) \div 2 = 56.25\text{cm}^2$   
 ☆ は  $21 \times (21 \div 2) \div 2 = 110.25\text{cm}^2$   
 ☆ は、 $110.25 - 56.25 = \boxed{54}\text{cm}^2$

1 図1の正六角形 ABCDEF の各辺のまん中の点を結んでできた六角形の面積は、正六角形 ABCDEF の面積の何倍ですか。

2 図2の正六角形 ABCDEF に、各辺のまん中の点を結んで2つの三角形をかき込んだものです。影の部分の六角形の面積と、正六角形 ABCDEF の面積比を求めなさい。

3 図3は1辺の長さが4cmの正六角形 ABCDEF の AB, CD, EF 上に点 G, H, I をとり、AG=1cm, CH=1cm, IF=2cm となるようにしたものです。このとき、三角形 GHI と正六角形 ABCDEF の面積比を求めなさい。



1 は全体の  $\frac{1}{6}$ 。 は の  $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$  だから、

は全体の  $\frac{1}{6} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{24}$  になる。  $1 - \frac{1}{24} \times 6 = \boxed{\frac{3}{4}}$

2 図2のように分ければ、影の部分は小さい正三角形が6こ、全体は正三角形が24こ。  $6:24 = \boxed{1:4}$

3 線ものをばして大きい正三角形をつくる。

$\begin{matrix} \text{ア} & & & & & \\ \text{イ} & & & & & \\ \text{ウ} & & & & & \\ \text{斜線部分} & & & & & \end{matrix}$

$$\begin{aligned} \frac{5 \times 6}{12 \times 12} &= \frac{30}{144}, \\ \frac{7 \times 5}{12 \times 12} &= \frac{35}{144}, \\ \frac{7 \times 6}{12 \times 12} &= \frac{42}{144} \end{aligned}$$

$$1 - \left( \frac{30}{144} + \frac{35}{144} + \frac{42}{144} \right) = \frac{37}{144}$$

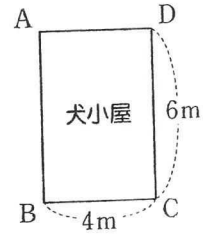
正六角形 は正三角形全体の  $\frac{6}{9} = \frac{2}{3}$  だから、

$$\frac{37}{144} : \frac{2}{3} = \boxed{37:96}$$

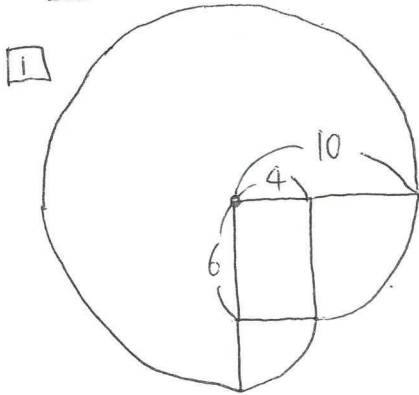


問題 37

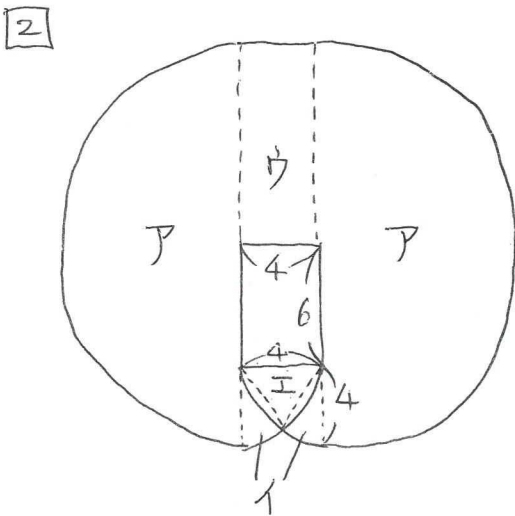
図において、長方形 ABCD は BC=4m, CD=6m の犬小屋です。今、犬が犬小屋にひもでつながれています。次の各場合について、犬の動き回れる範囲の面積を求めなさい。ただし、犬の大きさは考えないものとし、犬小屋の中は含まないものとします。また、円周率は 3.14, 正三角形の高さは 1 辺の長さの  $\frac{\sqrt{3}}{2}$  倍とします。



- 1 犬をつなぐひもの長さは 10m, ひもが頂点 A に結ばれている場合。
- 2 犬をつなぐひもの長さは 10m, ひもの片方は辺 AD 上を動ける場合。



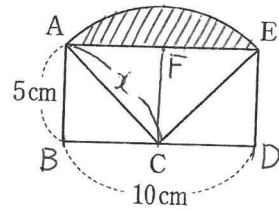
$$\begin{aligned}
 & 10 \times 10 \times 3.14 \times \frac{3}{4} + 6 \times 6 \times 3.14 \times \frac{1}{4} + 4 \times 4 \times 3.14 \times \frac{1}{4} \\
 &= (10 \times 10 \times \frac{3}{4} + 6 \times 6 \times \frac{1}{4} + 4 \times 4 \times \frac{1}{4}) \times 3.14 \\
 &= 88 \times 3.14 \\
 &= \boxed{276.32} \text{ cm}^2
 \end{aligned}$$



$$\begin{aligned}
 & \underbrace{10 \times 10 \times 3.14 \div 2 \times 2}_{\text{ア}} + \underbrace{4 \times 4 \times 3.14 \div 12 \times 2}_{\text{イ}} \quad \text{30°だから} \\
 & + \underbrace{10 \times 4}_{\text{ウ}} + \underbrace{4 \times (4 \times \frac{\sqrt{3}}{2}) \div 2}_{\text{エ}} \\
 &= (100 + \frac{8}{3}) \times 3.14 + 40 + \frac{104}{15} \\
 &= \frac{308}{3} \times 3.14 + 40 + \frac{104}{15} \\
 &= \frac{967.12}{3} + 40 + \frac{104}{15} \\
 &= \frac{24178}{75} + 40 + \frac{104}{15} \\
 &= \frac{24178}{75} + \frac{3000}{75} + \frac{520}{75} \\
 &= \frac{27698}{75} = \boxed{369 \frac{23}{75}} \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

問題 38

図は、 $AB=5\text{cm}$ 、 $BD=10\text{cm}$  の長方形  $ABDE$  に、おうぎ形  $ACE$  をかきこんだものです。  $C$  は  $BD$  のまん中の点です。このとき、影の部分の面積は何  $\text{cm}^2$  ですか。



半径がわからないときは、突然正方形の面積の求め方が2種類あることを考える。

正方形  $ABCF$  において、

$$\text{一辺} \times \text{一辺} \rightarrow 5 \times 5 = 25 \text{ cm}^2$$

$$\text{対角線} \times \text{対角線} \div 2 \rightarrow \alpha \times \alpha \div 2$$

$$\text{よって、} \alpha \times \alpha \div 2 = 25$$

$$\alpha \times \alpha = 50 \text{ となる。}$$

$$\text{斜線部分} = \text{四分円} - \text{三角形} ACE$$

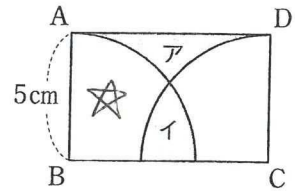
$$= \underbrace{\alpha \times \alpha \times 3.14 \div 4}_{50} - 10 \times 5 \div 2$$

$$= 50 \times 3.14 \div 4 - 25$$

$$= \boxed{14.25} \text{ cm}^2$$

問題 39

図は、 $AB=5\text{cm}$  の長方形  $ABCD$  に  $B, C$  をそれぞれ中心とする円の一部をかきこんだものです。アの部分とイの部分の面積が等しいとすると、長方形の横 ( $AD$ ) の長さは何  $\text{cm}$  ですか。なお、円周率は  $3.14$  とします。





$$ア = イ$$

$$ア☆ = イ☆$$

イ☆ は四分円なので、 $5 \times 5 \times 3.14 \div 4 = 19.625 \text{ cm}^2$

ア☆ も  $19.625 \text{ cm}^2$

☆と☆は同じなので、 も  $19.625 \text{ cm}^2$

 も  $19.625 \text{ cm}^2$  だから。

長方形全体は、 $19.625 \times 2 = 39.25 \text{ cm}^2$

長方形のたては  $5 \text{ cm}$  だから、横は  $39.25 \div 5 = \boxed{7.85} \text{ cm}$

問題 40

次の各場合について、小さい方から大きい方へ向けての円の面積比を求めなさい。

1 図1のように、内側から、正方形、円、正方形、円、正方形、円がぴったりくっついている場合。

2 図2のように、内側から、円、正三角形、円がぴったりくっついている場合。

3 図3のように、内側から、円、正六角形、円がぴったりくっついている場合。

図1

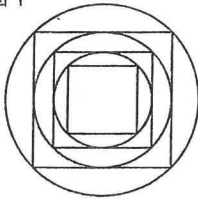


図2

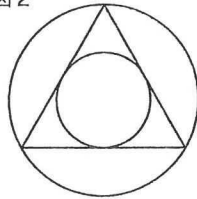
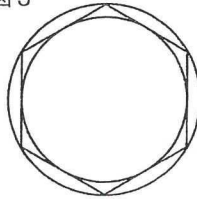


図3



1



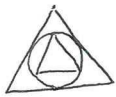
となつてゐるとき、小さい正方形を回転させて、 だから、




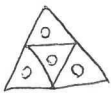
となり、小さい正方形は大きい正方形の半分。

同様にして、図1の正方形3つの面積の比は 1:2:4 だから  
円の面積の比も  $\boxed{1:2:4}$

2



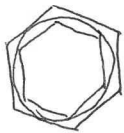
となつてゐるとき、小さい正三角形を回転させて  だから、

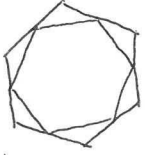


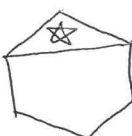


となり、小さい正三角形は大きい正三角形の  $\frac{1}{4}$  である。

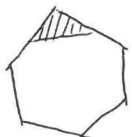
よつて、図2の小さい円と大きい円の比も、 $\boxed{1:4}$  となる。

3



となつてゐるとき、小さい正六角形を回転させて  だから、

となる。 は全体の  $\frac{1}{6}$  で、 は  の  $\frac{1}{4}$  なので、

 は全体の  $\frac{1}{6} \times \frac{1}{4} = \frac{1}{24}$  となる。

よつて、小さい正六角形は大きい正六角形の  $1 - \frac{1}{24} \times 6 = \frac{3}{4}$  となる。

従つて、図3の小さい円と大きい円の比は、 $\boxed{3:4}$  となる。